

(様式第4号)

上田市上野が丘公民館運営審議会 会議概要

1 審議会名	第2回上田市上野が丘公民館運営審議会
2 日時	令和2年3月10日 午後6時30分から午後8時30分まで
3 会場	上野が丘公民館 1階 第1学習室
4 出席者	井出操会長、櫻井記子副会長、春原一博委員、田中浩寿委員、洞口秀子委員
5 市側出席者	山口美栄子館長、小林次長、北原主事
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和2年3月16日

協 議 事 項 等

1 開 会
2 あいさつ（井出会長、山口公民館長） ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため時間短縮で行う。
3 協議事項
(1) 令和元年度事業報告について
(2) 令和2年度事業計画について
(3) 修繕の実績と今後の予定 ・資料に沿い、小林次長から公民館事業について概要を説明。 ・台風19号の際、公民館が避難場所になったいきさつ、経過など説明。 (委員) 高齢者の避難について、地域の中でもっと情報共有すべき。
(4) 諮問案件について 6月の答申にむけて「上野が丘地区の地域づくりに係る公民館の役割」について、12月、1月にかけて行った上野が丘地区で活躍する団体へのインタビューの内容を中心に審議。 (委員) 豊殿小の子どもたちが豊殿地域のパンフレットを作った。子どもたちの発信力は地域の大人たちに大きな刺激になった。 (委員) 災害、認知症、少子高齢化などのあらゆる課題に対して、日ごろの公民館活動の仲間づくりこそ、将来の備えになることを地域住民も公民館ももっと認識すべき。 (委員) 子どもがきっかけで気づく地域づくりの可能性に公民館も地域も気づくべき。 若い人たちに参加してもらってはなかなか難しいけど、地域を担う次世代の子どもたち、特に小学生に地域の多様な人々と交流、体験してもらい、将来、大人になったとき、また地域に戻ってきたときに役立ててもらいたい。子どものときに、多様な大人の姿をたくさん見ることはとても大事。子どもたちのために大人は、しっかり生きないと。 (委員) ひなたぼっこに行って、地域の人が真剣に地域のことを語り合っていたのが印象的だった。インタビューに行って本当によかった。 (委員) 分館役員になったり、サークルに入って、地域のいろいろな人に出会えたから、また公民館のことも知ることができた。「何か困ったことがあったら公民館に行ってみたらいいよ」と言えるようになった。またそういうことを聞かれる人間、地域の中であてにされる人間になりたい。みんなに公民館のこと、地域のことを発信していけるようになりたい。公民館活動や分館活動を通じて、公民館は人材育成の場だと思う。 (委員) 公民館の持つ情報力もすごいが、地域で様々な活動をしている人たちも、もっと情報発信してほしい。 (委員) 分館の役員会などでも、今回出された公民館の利用者団体や地域の情報などをぜひ提供すべき。

(委員) 分館役員は、地域デビューのきっかけになる。その人自身が地域とつながって、成長できる場。その後、地域の様々な役員をやられるている。

(事務局) 今日の諮問案件について、ご意見があれば、3月中に事務局までお知らせいただきたい。

(5) 上野が丘公民館「そよかぜ通信」について

(事務局) 定期送達を通じて「各戸配布」をしていたが、令和2年4月16日号から「回覧」になる。回覧になって必要な情報が必要な方に届かないことがないよう、地域の方が自由に入手できる場所を工夫したり、新しい形での広報の形を引き続き研究していく。

4 その他

(1) 令和2年度公民館利用者団体について

(2) 平成29年成人式実績報告

(3) 今後の予定

(事務局) 2月21日付で令和元年度定期監査の結果が公表され、公民館の使用料の徴収、使用料の減免基準の見直しや公表、9館の事務処理方法の統一について指摘されている事を報告。